

令和5年度 大館市立城南小学校 学校評価書（前期・年度）

A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

B 目指す学校像

- 1 児童一人一人が自分の幸せを支える力を高める学校
- 2 保護者が安心して我が子を送り出せる学校
- 3 職員がチームで改善に取り組める学校
- 4 地域に笑顔で協力してもらえる学校

C 学校経営の特徴

- 1 主体的に学び合い、皆が力を確かに高める授業づくり
- 2 一人一人に寄り添い、組織的に個々を伸ばす指導の工夫
- 3 楽しくやりがいのある活動の工夫



学習発表会

コロナ5類移行に伴い、観客に人数制限のない学習発表会が実施できました。自分の子どもの発表はもちろん、他の学年の発表を楽しむ保護者がたくさんいました。



全校落ち葉拾い

グラウンドに落ちた葉っぱを、全校のみんなで片付けました。集めた落ち葉をどんどん袋に入れていきます。袋はすぐに満杯になり・・・重くなった袋を協力して運びます。このように皆のために進んで働く城南っ子です。



読み聞かせスペシャル

いつもより長い時間、たっぷりお話を聞くことができる読み聞かせスペシャルが行われました。クリスマスのお話など季節にあったお話で、子どもたちも物語の世界に引き込まれていました。

D 評価

ア
児童の
状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

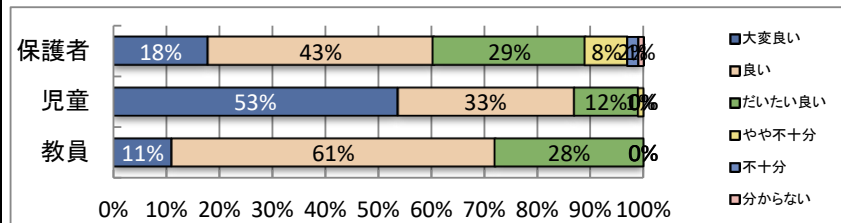
I 自主的・自律的な生活

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期 おおむね良好	良好	あいさつ運動やあいさつマスターなどの継続した取組によって元気にあいさつする児童が増えていると感じる。メディアに関わるルールを児童会が作り、それを子どもたちが守って生活していることが伺える。子どもたちがよりよい生活を送っていけるよう更なる指導の充実をお願いしたい。
	年度 おおむね良好	良好	校外学習や地域とのかかわりなど、あいさつへの取組が生かされる場があり、心のふれあいも生まれたことが伺える。それぞれの仕事へのがんばりが認められる機会があり、学習や生活に落ちついて意欲的に取り組む姿が育ってきている。
学校自己の改善の概要と	<p>【前期(→年度)】(1)について→振り返りカードでの意識付け、あいさつ運動やあいさつマスターの取組を通して、進んであいさつをする児童が増えた。しかし、校外でのあいさつや一人でも自分からあいさつができるかというところで消極的な姿が見られる。今後は、城南っ子基本3行動の1つ「だれにでも気持ちよいあいさつと返事をします」を合い言葉に、児童会や学級での話し合いなどで、さらにあいさつの輪が広がっていく取組を考えていきたい。(2)(3)について→学年目標を意識しながら、様々な活動に取り組むことができた。委員会活動のお知らせや呼びかけは、集会や給食時間の放送、ポスターなどを使って工夫している。また、児童会で、メディアに関わる「ぼく・わたしたちのマイルール」をつくった。ルール遵守の指導とともに、児童が主体的に決めたルールを基に、子どもたち自身が自分たちの行動を見つめていくことができる活動の充実を図りたい。</p> <p>【年度(→次年度)】(1)→年間を通じたあいさつマスターの取組、学年毎の「校内こんには運動」を通して、進んであいさつをする児童が増えている。一方で、保護者アンケートにも意見が寄せられているように、校内だけでなく校外でのあいさつの向上も大切なので、家庭と協力した取組を工夫していきたい。(2)(3)→学校が楽しいと答え、当番活動や各種行事に一生懸命取り組む児童は多い。子どもたちの頑張りを賞賛しながら、城南っ子基本3行動の1つ「どこでも安全に気を付け命を守ります」を合い言葉に、児童が安全に楽しく過ごせる居場所となる手立てを工夫していきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校外での元気な挨拶	挨拶運動(児童、保護者、職員)、「めざせ!城南あいさつマスター」の実施、学級活動や集会など学校生活全般を通じた指導	3	3
	(2)規律ある落ち着いた生活			
2 集団生活・集団活動	(3)集団の一員としての自覚ある言動	学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年集会の実施、ふれあい集会、城南オリンピック	3	4

[1に関するデータ]

○自分から進んで、地域や学校であいさつしているか。(平均値 保護者3.62 児童4.39 教員3.83)



◇保護者の挨拶運動・登校指導

5月～10月(PTA)

◇あいさつマスターの奨励

4月、7・8月、11月(自己評価→あいさつマスターシール)

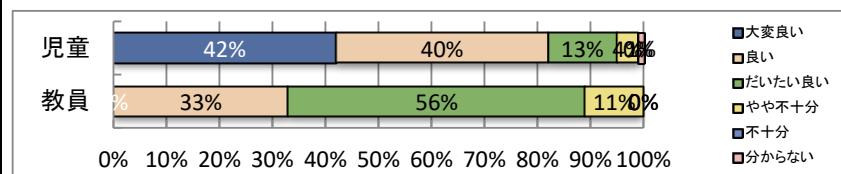
◇教員の挨拶運動

4月～2月(学校安全日) 3月(学校職員)

◇委員会の挨拶運動(通年)

11月(学年) 7・8月(小中連携挨拶運動)

○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.19 教員3.22)



◇ぼく・わたしたちのマイルール(児童会)

*メディアに関わるルール

◇「城南っ子生活の約束」の配付

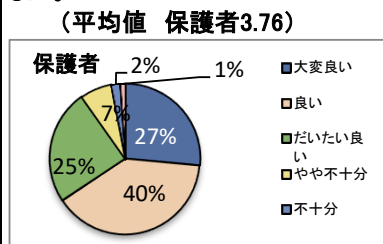
◇学年集会の開催・昼の放送での呼びかけ

◇生徒指導通信「城南っ子」の配付

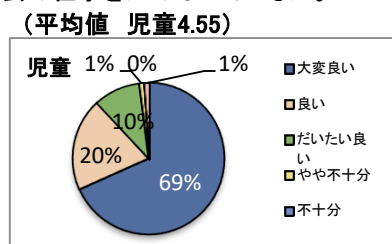
◇委員会による呼びかけ

[2に関するデータ]

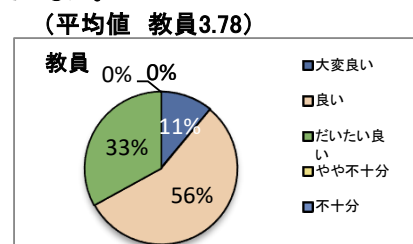
○子どもは、学校が楽しいと話しているか。(平均値 保護者3.76)



○学級のみなのために、係や当番、委員会の仕事をがんばっているか。(平均値 児童4.55)



○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。(平均値 教員3.78)



◇城南オリンピックの開催

各学年趣向を凝らしたり、縦割りペアで競技を行ったり、楽しい時間を過ごした。



ア 児童の状況

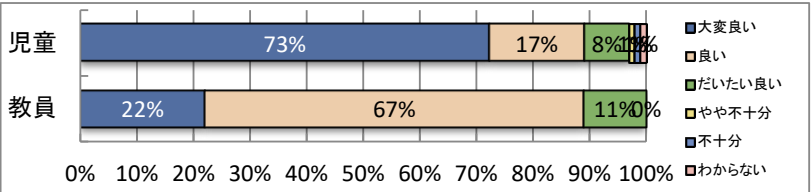
II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
自分のよさや他人のよさを認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	良好	授業中、クラスメイトが発表した後で「いいです」「なるほど」など共感する声がある。コロナ等で交流が難しいこともあると思うが、全校での交流によって「思いやりの心」等が育まれることを期待している。各学年一人一人の「キラッとさん」が廊下に掲示されていて、自己有用感の育成につながっている。
	年度	おおむね良好	きわめて良好	縦割り活動は、児童の社会的な成長にとても役立つ活動である。継続を希望する。「キラッとさん」を毎日帰りの会で紹介したり、見える化したりすることで、自己有用感が育成されていると思う。
校自己改善策の概要と学	【前期(一年度)】(4)(5)について→自己有用感の育成と生活指導部の目標「みんなで気持ちよく生活する力」を高めるために、学級や他学年との仲間意識を深めるための集会や縦割り活動が、高学年を中心に企画・実践されており、児童同士の絆を深めている。また、昨年度より「キラッとさんロード」を継続し、児童同士で認め合う場をつくり、お互いに目に見える掲示をしている。生徒指導通信を活用し、保護者にも紹介している。道徳指導については、子どもたちの実生活に結びつく学びになるように、今後も授業の充実を図っていききたい。(6)について→日常観察の他にいじめアンケートを実施し、一人一人と教育相談を行っている。対策委員会による情報交換やアンケート結果を分析し、気になる児童をピックアップして、児童の困り感に寄り添いながら、対応・解決することができた。ホウレンソウ(報・連・相)カードを活用しながら、職員間の情報共有を密にし、チームで対応できるように継続して指導にあたりたい。			
	【年度(次年度)】(4)(5)→「キラッとさん」を年間を通じて積み重ねている。校内でも家庭内でも一人一人のよさを認め合う場を設定することで高い値を保っている。また、縦割り活動では清掃活動やなかよしアップタイム等で仲良く活動することができた。授業作りによる児童同士のつながりの充実も含めて、個々の自己有用感の育成と協力し合うことの意識付けを図っていききたい。(6)→いじめ・不登校や人間関係作りで困り感をもつ児童もいるため、道徳の授業の更なる充実や職員同士の情報交換を大切に、継続して指導にあたりたい。			

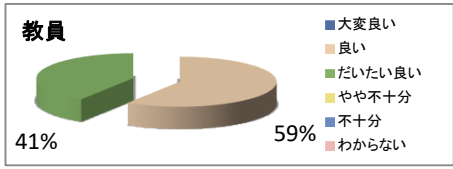
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 自他の理解	(4)自己有用感の育成	人間関係づくり(学級活動など)、縦割り班活動、集会活動、なかよしアップタイム、一人一人のよさを認め合う場の設定(キラッとさんロードの設置)	4	4
	(5)道徳性、道徳的な判断力等の育成	道徳科の授業の充実、各教科等との関連的指導の充実		
4 児童理解	(6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応	職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、アンケートや調査の実施と事後指導への活用、「ホウレンソウカード」による校内生徒指導体制の強化、チームによる即時対応	3	3

[3に関するデータ]

○友達と仲良く生活しているか。
(平均値 児童4.59 教員4.11)



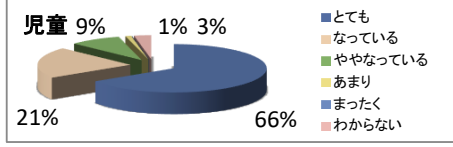
○道徳の時間の充実
(平均値 教員3.59)



◇キラッとさん(帰りの会での発表紹介、学校・お家キラッとさんの活動) →キラッとさんロードへの掲示

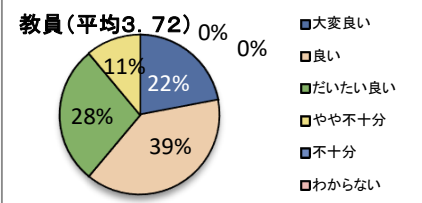
- ◇なかよしアップタイム(縦割り班による活動)の実施(学期に1回)
- ◇ふれあい集会、1年生と仲良くなろう縦割り班集会など各種集会や縦割り班掃除・全校おにごっこでの交流や関わり

○道徳の授業は自分にプラスになっているか。(児童4.41)

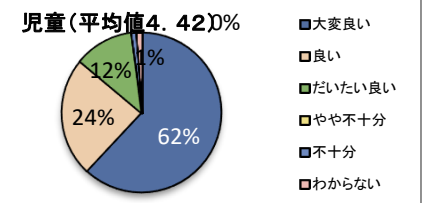


[4に関するデータ]

○学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応



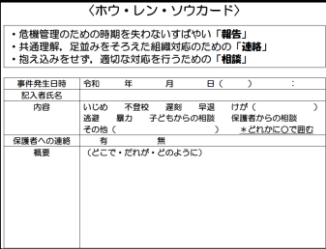
○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけてあげているか。



- ◇教育相談…6月、11月、2月
- ◇いじめ調査アンケート・教育相談…7月・11月・2月
- ◇ホウレンソウカードと生徒指導カードの作成
- ◇職員会議での情報交換
- ◇特別支援教育委員会の開催
- ◇いじめ・不登校対策委員会の開催と機を逃さない対応



見える化&積み重ね



ホウレンソウ(報・連・相)カードの活用
状況把握・共通理解に努める



なかよしアップタイム
(縦割り班で遊ぶ日)

ア 児童の状況

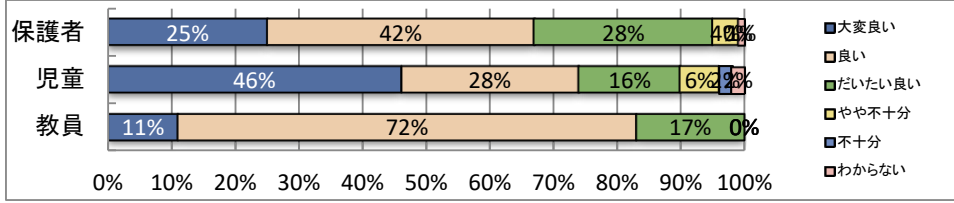
Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通して、健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	これまでの学校評価の意見を踏まえ、広く「健康」を意識した取組を実施して運動の機会を積極的に設けている。全校児童が楽しめる「全校鬼ごっこ」や「バランスペロリン週間」など今後も継続して取り組み、成果に期待したい。
	年度	おおむね良好	良好
自己評価改善策の概要と学	【前期(→年度)】今年度は運動する機会の保障だけでなく、「健康」に関わる広い分野(運動、食育、保健衛生等)を踏まえた「体力の向上」をねらいとしている。前期の運動に関わることは、城南スポーツタイムで投力と握力の向上を狙い、「投げる」運動を取り入れた。また、全校児童に運動の機会を与えるために「全校鬼ごっこ」を実施した。後期も安全面に配慮しながら、継続して全校児童が運動の習慣を身に付けられるよう取り組んでいきたい。食育に関わることは、「バランスペロリン週間」を行い、少しでも好き嫌いせずに栄養のバランスを考えながら食べるように指導した。後期も再び「バランスペロリン週間」を実施し、前期からどれくらい食べられるようになったのか実感させ、自信を付けさせていきたい。また栄養職員による栄養授業も実施しようと考えている。保健衛生に関わることは、高学年を中心に集会を開き、掃除の仕方や低学年への教え方を指導し、清掃力の向上を図った。後期は、班の数を減らし、掃除箇所の見直しを検討し、清掃箇所による掃除の負担の差を解消したい。		
	【年度(→次年度)】「全校鬼ごっこ」、「城南スポーツタイム」、「縄跳びチャレンジ」など自分から運動を楽しむ手立てを工夫したことで児童の運動の機会を作ることができた。前期の課題の清掃については、班の数を減らすことで一つの班の人数を増やし、さらに掃除箇所の見直しをし、負担感を軽減し効率よく活動できている。食育では「体力アップ週間」を設け、少しでも給食を食べようとする意識を生むことができた。どちらも継続して行っていきたい。それに加えて、今後は、重点月での「清潔力アップday」の回数を見直したり、「お掃除キラッとさん」を放送で紹介したりするなどして、保健衛生面でも「体力の向上」を目指していきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 保健衛生・食育	(7)健康的な生活習慣の向上 (8)望ましい食習慣の形成	メディアコントロール週間、清潔力アップday、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、ガラガラあわわタイム、養護教諭の保健指導 食育および給食指導、委員会活動、バランスペロリン週間、栄養バランスチェック、給食試食会、わんだふる給食PR	3	3
6 体力づくり	(9)継続的な体力づくりの実践	パワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム①～③、外遊びイベント	4	4

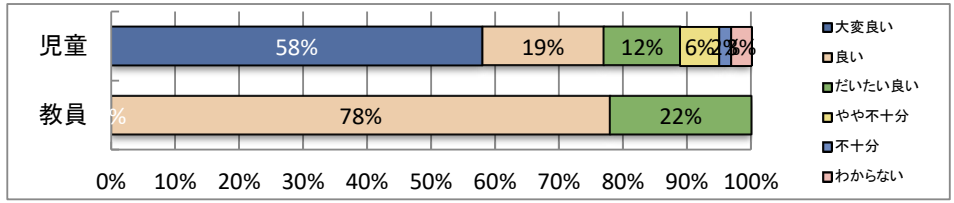
[5に関するデータ]

○早ね・早おきをし、朝ごはんを食べているか。(平均値 保護者3.85 児童4.06 教員3.94)



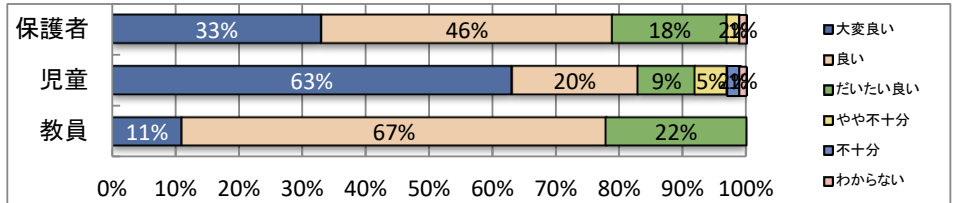
「健康パワーアップシート」
2週間実施。○が多いと、「健康シール」ゲット！児童の意欲アップになりました！

○給食では好き嫌いをしないで食べているか。(平均値 児童4.15 教員3.78)



[6に関するデータ]

○自ら進んで体を動かし、よく運動をしているか。(平均値 保護者4.05 児童4.34 教員3.89)



「食育講座」(1年) バランスのよい食事を目指すため外部指導者を招いて実施。



「縄跳びチャレンジ」
チャレンジカードに色を塗りながらたくさん跳びました。

体力向上	食育	保健衛生
10月: バスケシュート 12月: 縄跳びチャレンジ(チャレンジカード)	9月: 1年生食育講座 10月: 健康パワーアップシート バランスペロリン週間	9月: メディアコントロール週間 12月: 大掃除 がらがらあわわタイム 定期: 清潔力アップデー
○普段できないバスケットボールを扱うことで児童が楽しく運動できた。 ○縄跳びチャレンジでは、チャレンジカードを用意したり、体育館割当てのない時間は空き教室などを活用したりすることで運動量の確保に繋がった。	○「食育講座」は低学年から食のバランスの大切さに触れるよい機会となった。 ○10月は少しでも好き嫌いをなく食べようと頑張る児童が多く見られた。	○「清潔力アップデー」や「がらがらあわわタイム」によってハンカチ・ティッシュの携行、風邪予防の意識が高まった。 ○メディアコントロールはさらなる家庭と連携が求められる。 ○清掃に関して大掃除だけでなく日常の掃除に対して、意欲が高まる施策を考えていきたい。

ア 児童の状況

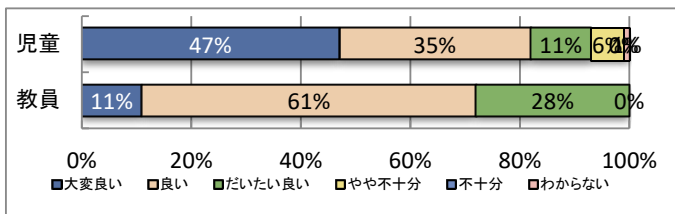
IV 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
主体的に授業に臨み、基本的学習習慣や学び方を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	授業の様子や教職員ヒアリングから、城南小として統一した学習スタンダードに従って、全クラス・教科で特色ある学習指導を行うことができている。子どもたちが、お互いの意見を尊重し、共感し合う姿勢は十分にできているので、今後は反論したり議論し合ったりする力、自分の意見を進化させて発信できる力を向上させてもらいたい。
	年度	おおむね良好	前期の反省をもとに、城南小としての学習スタンダードの徹底に向けて、組織的で着実な取組ができている。図書館の積極的な活用と教員のICTを取り入れた授業改善の努力は、児童が楽しんで学習に取り組もうとする雰囲気作りに大きな効果となって表れている。
と自己評価の価値観の改善概要	<p>【前期(→年度)】基本的学習習慣の定着のため、全校で共通した指導ができるよう、4月に「学習スタンダード」をもとにオリエンテーションを行った。重点月の6月には、一点突破である「聴いて反応する力」を鍛えるために自分の聴き方を見直すための「聴き方アップトレーニング」を行った。また、子ども同士の授業参観を通して、他学年の聴き方や反応を参考にできるようにしている。国語科と関連させながら朝の会やJタイムにスピーチタイムを設定し、テーマや課題について職員間で情報交換しながら話す・聴く力の向上に努めている。今後は、それぞれの活動のねらいをレベルアップさせながら継続することで、「聴いて反応する力」を身に付けさせ、学び合いを深められるようにしていきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】図書館の活用や、時間を設定により、読書の意欲がとも高まってきている。読み聞かせも子どもたちの聴く力を養うのに効果的である。また、定期的に振り返りの場を設けることで、学習スタンダードの徹底ができた。特に、「キャッチ&表現」を全校の合い言葉にし、聴いて、反応する力を高められた。今後は、相手意識をもって話したり、発表を聴いてもらうための表現力を高めていけるように指導を継続していきたい。</p>		

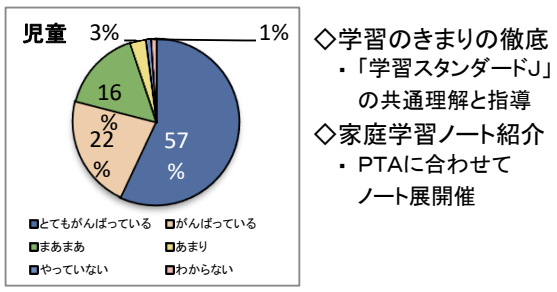
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 学習への取組	(10)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、家庭学習の奨励(全校ノート展の実施)	3	3
	(11)基礎・基本の確かな定着	ねらいと評価、振り返りを大切にしながら朝の会やJタイムにスピーチタイムの実施		
	(12)言語活動の充実	授業における学び合い、シンカタイムの充実、ICTスキルの向上と活用、スピーチタイムと反応言葉の活用、振り返りの充実		
	(13)読書活動の充実	読書・読み聞かせの推進、図書館経営、情報活用の充実		

[7に関するデータ]

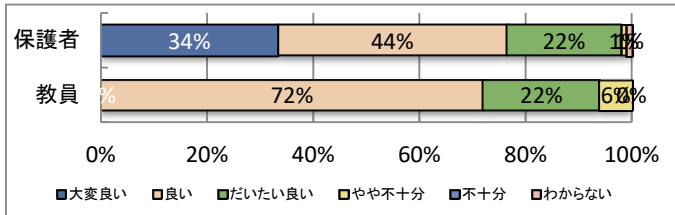
○学習のきまりを守って学習しているか。(平均値 児童4.19 教員3.83)



○家庭学習をがんばっているか。(平均値 児童4.29 保護者3.84)



○基礎・基本の確かな定着が見られるか。(平均値 保護者4.03 教員3.67)

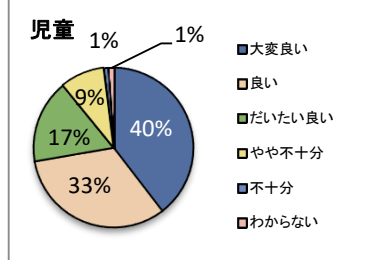


○言語活動の充実を図っているか。(平均値 教員3.89)

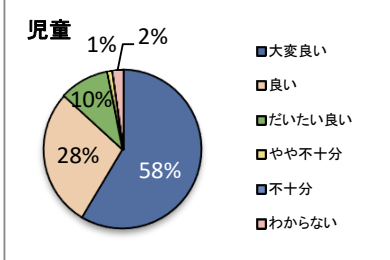
- ・主に国語科を中心にした学び合い
- ・学習内容や発達段階に応じた学習の工夫
- ・スピーチタイムの実施やシンカタイムの話し合い

○読書習慣の定着 (平均値 児童4.36 教員4.28)

○授業で、進んで発表や反応をしているか。(平均値 児童3.98)



○個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。(平均値 児童4.36)



「キャッチ&表現」を合い言葉にスピーチタイムを実施

- 個に応じた学習の取組の例
- ・3～6年に算数の2C3Tまたは1C2Tを実施
 - ・放課後や長期休業中の個別指導
 - ・ICTの活用
 - ・放課後のパワーアップ

イ
**学校運営
の状況**

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 組織運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。	前期	良好	良好	校長や教頭のリーダーシップの下、重点目標の具現化に向け、全職員で取り組んでいる様子を授業からもうかがえた。若手教員も多いが風通しのよい職員室の中での関係性や日常のOJTにより育っていると感じる。反応力と共感性は授業で意識されている。後期はさらに踏み込んで、自分の考えをしっかりと自分の言葉で発信する力も身に付けてほしい。
	年度	良好	良好	ICTの公開授業に向け、組織として取り組んでいる様子を当日の授業や研究会から感じることができた。その成果が、ICTのみならず普段の授業にも生かされている様子を各分掌の部長から聞きとることができた。今年度の成果と課題を来年度へつなげて欲しい。またふるさとキャリア教育に対する取組について生き生きと語る児童の様子も立派であった。学校全体の取組やねらいが児童の心に定着している様子を感じた。
の自己評価の概要と学校	【前期(→年度)】経営方針を全職員で共通理解し実践している。各指導部が中心となって新しい取組を提案するなど、先生方も常に前向きである。今後は、子どもが城南っ子基本3行動について考え、自分たちでよりよい学校をつくっていけるように導きたい。ふるさとキャリア教育についてはテーマは同じでもアプローチを変えするなど、工夫が見られる。今年度は学びの発信に重点を置いているため、客観的に評価していただく場を設け、活動の改善につなげたい。ICT事業は最終年度であるため、10月の公開授業に向けてより効果的な活用提示ができるように実践中である。			
	【年度(→次年度)】経営方針や具体的施策については同じ方向を向いて具現化に努めることができた。チーム城南としてのまとまりが見られ、組織として活動や支援ができています。また、ふるさとキャリア教育作品コンクールで最優秀賞に輝くなど、活動のまとめと外部への発信を意識し、学校全体として取り組むことができた。今後も、多面的・多角的な視点で活動へのアプローチを図っていききたい。ICTモデル校として公開した授業研究会では、3年間の研究の成果を出すことができた。事業は終わりとなるが、来年度も個別最適な学びの充実に向けた取組は継続していきたい。			

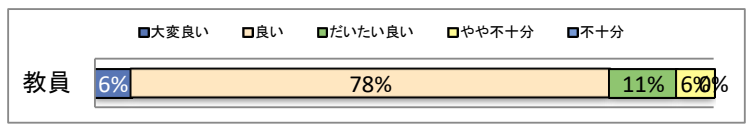
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 学校の明確な経営方針	(14)経営方針や重点目標、施策の明示 (15)城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践	職員会議、PTA総会等での周知、校報での明示 指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践	4	4
9 教育課程の編成と実施	(16)特色ある教育課程の編成と実施	ふるさと・未来をつくる力を意識したふるさとキャリア教育の推進	3	4
10 職員研修	(17)授業改善と指導力の向上(2つのICTで)	ICTを取り入れた授業研究、校内研・諸研修への参加、学年部での教材研究	4	4

[8に関するデータ]

○経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員4.06)

	大変良い	良い	だいたい良い	やや不十分	不十分
教員	11%	83%	6%	0%	0%

○城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員3.83)

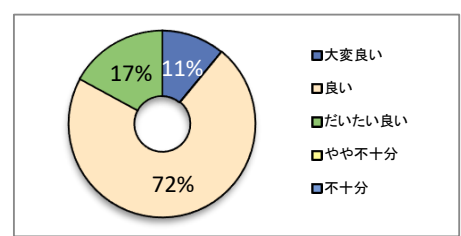


城南っ子基本3行動

- いつでもよく聴き、相手の話に反応します。
- どこでも安全に気を付け、命を守ります。
- だれにでも気持ちのよいあいさつと返事をします。

[9に関するデータ]

○ふるさとキャリア教育の推進(平均値 教員3.94)



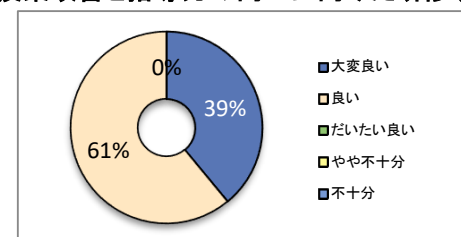
○今年度の活動例

- ・ 3年 わがまち大館調査隊:大館市の自然、行事や伝統等の調査
- ・ 4年 やさしい大館づくり隊:エコタウン大館やバリアフリー施設等の調査、講話や体験
- ・ 5年 プロジェクトJV:大館の「食」に関わる方々からの講話や職場体験
- ・ 6年 プロジェクトJファイナル:ハチ公生誕100年を記念して、ハチ公をテーマとしたふるさとCMを発信



[10に関するデータ]

○授業改善と指導力の向上に向けた研修(平均値 教員4.39)



○授業研究会の実施(予定含む)

- 6月:社会科研究授業(5年)
- 7月:道徳科指定訪問(6年)
- 10月:ICT公開授業(1~6年)
- 11月:算数科指定訪問(2年)
- 11月:特別教育支援員配置校研修(1年)
- 2月:初任者研修授業研究会(3・4年)

ICT公開授業(2年生活科)

イ 学校運営の状況

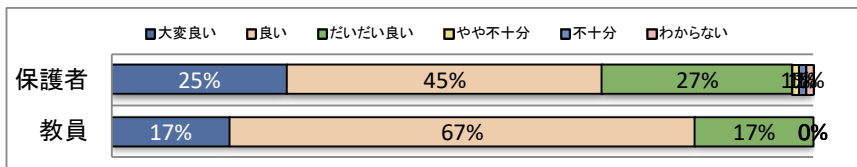
VI 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	読み聞かせやキャリア教育などで、父兄や地域住民、企業との連携が大変充実していると思われる。つながりをさらに深めるためにもさらなる地域への情報発信(子どもたちの活動など…)を進めていただきたいと思う。情報の発信では、町内の回覧板に「わが城南」が配布され、校内での子どもたちの生活を知ることができているので、継続して、情報の提供を望む。
	年度	良好	良好	スキー教室では30名を超える保護者が協力しており、保護者も楽しみながら学校行事に参加してくれ良い関係であると思う。小規模校では、子や孫が学校に通っていないでも、学校と町内のかけ橋となっている地域の方が多いと聞く。城南小でも、いつか考える時期が来るのではないかとと思う。
学自校己の評改価善の策概要と	<p>【前期(→年度)】学年だよりや学校だよりのほか、学校ホームページやブログでも子どもたちの学校での様子を紹介している。毎回の発行を楽しみにしていただいているが、印刷すると写真が不明瞭になるので、カラー版のホームページでの閲覧を勧めている。地域の教育力については、様々な学習場面(正課クラブや朝の読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間、学校行事、登下校の見守り等)で保護者や地域の方々に積極的に協力を求め、学校だけではできない活動を安全で充実したものにする事ができた。</p> <p>【年度(→次年度)】各行事や諸活動がコロナ禍以前と同様に制限なく実施できてきている。学習発表会も保護者の観覧の人数制限がなくなり、予行練習には幼保の園児の参観もできた。また、4年生の老人施設訪問や親子学習会なども4年ぶりに実施でき、子どもや保護者にとっても充実した活動となった。今年度始まった学校運営協議会も順調に機能し、読み聞かせ活動を中心に地域との連携を図ることができた。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 情報の受発信	(18)積極的な情報発信と情報収集	校報・学年通信の充実、ホームページによる情報発信、PTA諸会合、地域訪問、個人面談、民生委員と語る会、保護者アンケート	3	3
12 学校・地域・保護者との	(19)PTAとの連携強化 (20)コミュニティースクールの趣旨を生かした教育力の活用	学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動) 地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援、学校運営協議会	4	4

[11に関するデータ]

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者3.92 教員4.00)



- 学校ホームページ 学校報毎月更新
- ブログの更新 随時
- 学年だより 毎週発行
- 学校報 毎月24日頃発行 ※各町内へ回覧用に配付 一部の町内では全戸配付

[12に関するデータ]

○授業や行事の公開、面談等の機会の設定はよくなされているか。

(平均値 教員3.72)

	大変良い	良い	だいたい良い	やや不十分	不十分
教員	6%	67%	22%	6%	0%

- ・授業参観 4月15日、6月29日、12月8日、2月22日
- ・祖父母参観 6月29日
- ・個人面談 7月24日～27日・随時
- ・学習発表会 10月14日(4年ぶり人数制限なしの公開)

12月授業参観

(4年 親子自作のカルタを使って親子でカルタ遊びを楽しむ)



○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.92 教員3.72)

	大変良い	良い	だいたい良い	やや不十分	不十分
保護者	23%	48%	27%	1%	0%
教員	6%	67%	22%	6%	0%

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者4.26 教員4.06)

〈学校支援活動事業〉

- ・学習指導への補助 … 読み聞かせ(毎週木曜日 ※読み聞かせボランティア) 校外学習の引率補助



読み聞かせスペシャル たくさんの保護者の参観(学習発表会)



4年生総合 老人介護施設訪問



- ・正課クラブ活動…英語、パソコン、お茶、ダンス、手話、バルンアート
- ・行事等への支援…あいさつ運動、交通安全指導、スキー教室への協力
- ・PTA研修会…メディアについての講演会

○学校の外に出かけたり、地域の方と一緒に勉強や活動したりするのは楽しいですか(平均値 児童4.49)

